

## 春日山原始林授業づくりセミナー 第6回 フィールドワーク 概要報告

奈良教育大学研究員 杉山 拓次

実施日：2021年1月30日（土）9:00~15:00

参加者：教育大：杉山、中澤、阪本

読売新聞：元永、きんき環境館：中澤

■実施場所：若草山山中（川上町）、奈良公園

■実施概要：実施行程は以下の通り。

近鉄奈良駅集合—自己紹介、行程の説明—バスにて今在家町まで移動—五劫院：公慶上人のお墓を参拝—川上町（若草山）—鹿垣見学—若草山山中（川上町）—飯守町—空海寺：棚田嘉十郎のお墓を参拝—東大寺知足院—東大寺講堂跡（昼食）—東大寺千手堂—吉城園—近鉄奈良（解散）

■概要報告

春日山周辺に現存する鹿垣の見学を目的に実施。バスで今在家町まで移動後、東大寺大仏を江戸時代に復興した公慶上人の墓のある五劫院を見学。その後、雑司町から急坂を上った先にあるフェンスで囲まれたあたりには、鹿垣の名残と思われるものがしばらく続いており、若草山山中に入ると、川上町の獣害対策として設置された鹿捕用の罠も残っていた（現在は使っていない模様）周辺は原始林とは異なり、ユリノキやコウヨウザンなどの街路樹等に使われる木が生えていた。また、シリブカガシのドングリがよく落ちていた。

若草山山中は歩道整備されている状況ではないため歩きにくく、冬場以外は適期とはいえない。事前視察では距離感がわからなかったが、実際に歩いてみると比較的近距离で目標とする鹿垣へ到着した。鹿垣自体は、江戸時代頃に作られたとされ、川上町の一部では終戦間際まで管理されていたという。鹿垣の上にはカシ類が植えられており、カシ類の成長によって土塁も崩壊しているようにも見えた。

予定よりもかなり早く目標地点に到着したため、中澤先生が以前調査した際に見つけた鹿垣を探しに三笠温泉郷よりさらに北東の森へ入ってみることにした。急斜面を進むが鹿垣は見つからず、代わりに現在のシカよけのフェンスが現れた。

農地をぐるりと囲む形でフェンスが張り巡らされ、土塁の鹿垣がなくなった現在もこうして獣害対策に取り組んでいることを実感した。その後ぐるりと回り農地に入り、奈良方面へ徒歩で移動。もと来た北御門町あたりまで戻ってから、平城旧跡の保存に活躍した棚田嘉十郎の墓がある空海寺、知足院の天然記念物ナラノヤエザクラを歩き、東大寺講堂跡にて昼食をとった。その後、東大寺千手堂にて、千手観音菩薩立像や鑑真和上像の拝観をしたのち、吉城園を見学。近鉄奈良にて解散した。



公慶上人のお墓



林内の箱罠



若草山山中の鹿垣



棚田嘉十郎のお墓